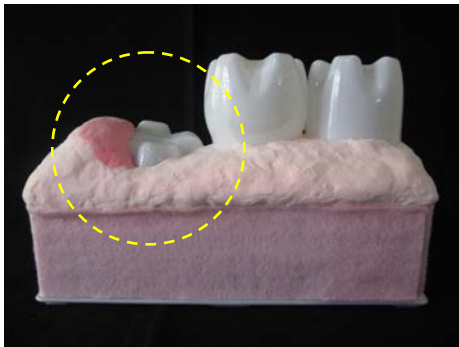


『第一大臼歯の萌出途上模型』

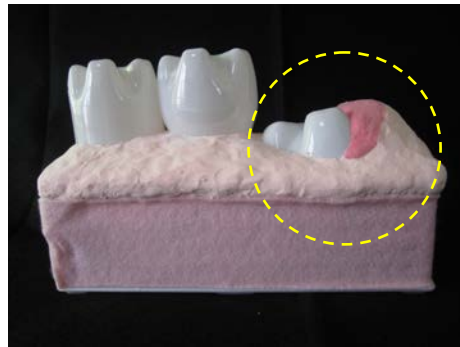
1、作製目的

第一大臼歯はどのような状態で萌出するのか、またその時、歯ぐきはどのような状態になっているのかを、視覚で理解してもらう。

(この模型は下顎左側を想定して作りました。)



<舌側から見た図>



<頬側から見た図>

2、材料



①1.5L炭酸飲料ペットボトル(第一大臼歯用)・・1本
(凸が5つのものが望ましい)

②500ml 炭酸飲料ペットボトル(乳臼歯用)・・2本

③紙ねんど 重めのもの

④紙ねんど 軽めのもの(うすいピンク)

⑤紙ねんど 軽めのもの(赤)

⑥①②が入る長方形のプラスチックケース

⑦カラスプレー(白)

⑧新聞紙

⑨プラスチックケースに貼るフェルト

※その他ねんどべら、はさみ、カッター、スプレー使用時の手袋、マスク、接着剤など



3、手順



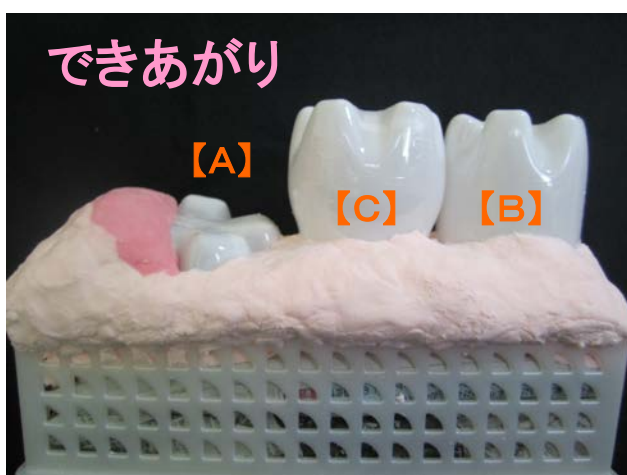
1) ペットボトルを切る。

- (1) 1.5L 炭酸飲料ペットボトルを底から5cmくらいのところで切り、第一大臼歯を作る。【A】
- (2) 500ml 炭酸飲料ペットボトルはプラスチックケースの深さ+歯冠(歯の頭)が出るくらいの長さに切り、乳歯を作る。【B】【C】
- (3) 内側にカラスプレー(白)を吹き付け、計3本を作る。



2) 土台を作る。

- (1) 安定をよくするために、プラスチックケースの底に重ねの紙ねんどを1cm くらいの厚さに敷き、土台を作る。(たくさん使用すると教材自体が重くなるので注意！)
- (2) 第一大臼歯下(土台部)のすきまを埋めるため、新聞紙を詰める。(プラスチックケースの2/3程度の高さが望ましい)



3) ペットボトルを並べる。

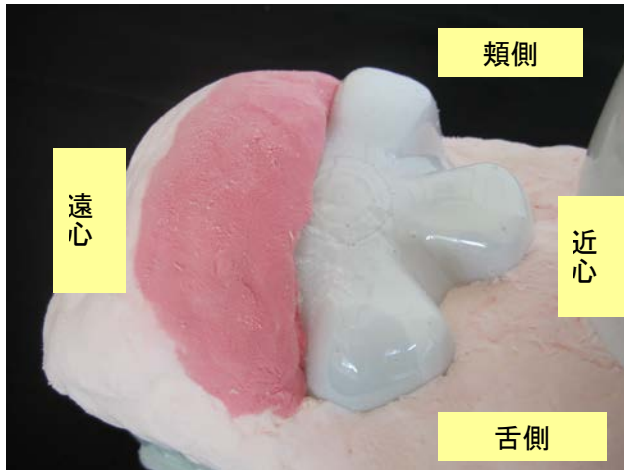
- (1) 【B】(乳歯 D)をプラスチックケースの端から1cm くらいの位置に立てる。(歯の丸みを考え、余裕をもたす)
- (2) 【B】の横に背の高さを合わせて、【C】(乳歯 E)を立てる。
- (3) 2)の(2)の上に、【A】を立て、3本を並べる。

4) 歯肉を作る。

- (1) プラスチックケースの上縁から、【B】【C】の歯頸部(歯の首のまわり)までを紙ねんど(うすいピンク)で覆い、歯肉を作る。(この時、すきま全部に紙ねんどを使用するとたくさん必要になるので、新聞紙でしっかりすきまを埋めるとよい)
- (2) プラスチックケースのまわりをフェルトで覆って

完成！

4、ポイント



※萌出しかけている状態を表現するため、下部の注意点を考慮して、【A】を固定し、さらに紙ねんどを盛っていく。

<注意点>

- ・【A】を頬側(ほっぺた側)に凸部が三つくるように置き、乳臼歯方向(近心)と、想定した舌側に傾ける。
- ・また、かぶさっている歯肉弁は、乳臼歯の反対方向(遠心)の二つの凸部が隠れる程度に、紙ねんど(うすいピンク)で覆う。
- ・歯肉の炎症を表現するため、うすいピンクに赤を少し混ぜた紙ねんどを歯肉の縁に盛るとよい。